

反映状況票

(単位:百万円)

府省名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	3年度予算額	4年度予算案	増▲減額	反映額
厚生労働省	(14) 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業	財務局	四国財務局	1,486	1,461	▲26	▲14
事業の概要	「がん対策推進基本計画」(平成30年3月9日閣議決定)において、男女とも対策型検診で行われている全てのがん種において検診の受診率を50%とすることを目標に掲げており、受診率向上のために、個別の受診勧奨・再勧奨の徹底、女性特有のがん検診についてクーポン券と検診手帳の配付等を行っている。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 子宮頸がん、乳がん検診のクーポン券の利用状況等について

- ・ クーポン券の利用状況は十分とは言えない可能性があること
 - ・ 検診費、クーポン券の発送に係る費用単価が、地域の実情を考慮しても市区町村ごとに大きく異なっていること
- から、好事例の収集・横展開により費用抑制に努めつつ、受診率50%の達成に向け、より効果的な事業実施の方策について検討すべき。

2. 子宮頸がん、乳がん、胃がん、肺がん、大腸がん検診の個別勧奨による受診状況等について

- ・ 個別勧奨を行っているにもかかわらず受診率の向上につながっていない可能性があること
 - ・ 事務費の単価が、地域の実情を考慮しても市区町村ごとに大きく異なっていること
- から、好事例の収集・横展開により費用抑制に努めつつ、より効果的な事業実施となるよう検討すべき。

3. 国費を受けていない市区町村の実施状況について

- ・ 国の補助事業があることを知らない市区町村もあることから、当該補助事業の周知徹底を図るべき。

4. がん検診における受診率向上の取組について

- ・ 費用抑制の取組を行いつつ受診率の向上につながった市区町村の取組を収集・横展開し、費用抑制と受診率の向上を目指すべき。

反映の内容等

1. 子宮頸がん、乳がん検診のクーポン券の利用状況等について

- ・ 世帯毎に他のがん検診の案内と一緒に郵送する等の好事例を市区町村に横展開し発送費用の抑制を図った。(反映額: ▲1百万円)
- ・ 今後は、特に利用率が低い子宮頸がん検診について、成人式や大学など二十歳(受診対象初年度)が集まりやすい場での啓発を行う等の好事例を横展開し受診率の向上を図っていく。

2. 子宮頸がん、乳がん、胃がん、肺がん、大腸がん検診の個別勧奨による受診状況等について

- ・ 1つのハガキで全てのがん検診の勧奨を行う等の好事例を市区町村に横展開し発送費用の抑制を図った。(反映額: ▲13百万円)
- ・ 今後は、メタボリックシンドロームに着目した特定健診との同時受診を行う等の好事例を横展開し受診率の向上を図っていく。

3. 国費を受けていない市区町村の実施状況について

- ・ 都道府県担当課長会議等の機会を通じて、市区町村向けの国の補助事業があることの周知を依頼していく。

4. がん検診における受診率向上の取組について

- ・ 上記1及び2の取組を行いつつ、現在行っている受診率向上を図るための実証事業の結果等を踏まえて費用抑制と受診率の向上を図っていく。